

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒のプランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

赤潮プランクトン調査の結果、魚類を死滅させるおそれがあるコクロディニウム ポリクリコイデスが最大で16細胞/ml 確認されました。また、二枚貝を着色させる可能性のあるミリオネクタ ルブラが最大で83細胞/ml 確認されました。

貝毒プランクトン調査の結果、麻痺性貝毒の原因種であるギムノディニウム カテナータムが最大で26細胞/ml 確認されました。

今後、海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※（本日は、海水1mlでプランクトンの検鏡を実施しております。）

調査時間 (13:40~14:15) 採集地点	水深	水温	塩分	溶存 酸素	コクロディニウム ポリクリコイデス	ギムノディニウム カテナータム	アレキサンド リウム属	ミリオネクタ ルブラ
	(m)	(°C)	(psu)	(mg/L)	*1	*2	*3	
ヒロウラ(別図①) 透明度:6m 採水時間:14:15	0	21.2	33.2	7.6	16	26	0	0
	5	19.9	34.5	7.79	7	0	0	0
	10	19.3	34.6	7.61	0	0	0	10
栄喜湾内(別図②) 透明度:8.2m 採水時間:13:50	0	22.5	33.1	8.69	0	0	0	9
	5	19.5	34.6	7.15	0	0	0	3
	10	19.1	34.6	6.52	0	0	0	0
青瀬山(別図③) 透明度:5.8m 採水時間:14:00	0	22.5	22.3	8.74	0	0	0	83
	5	19.5	34.6	7.19	0	0	0	0
	10	19.2	34.6	6.13	0	0	0	0
宿毛湾中央(別図⑤) 透明度:9.5m 採水時間:13:40	0	20.7	29.9	7.49	0	0	0	0
	5	19.6	34.6	7.76	0	0	0	0
	10	19.2	34.6	7.03	0	0	0	0

*1: 魚類を死滅させる恐れがある種 *2: 魚類を弱らせる可能性がある種

*3: 麻痺性貝毒の原因種

